

Techno Report

テクノレポート

No. 136

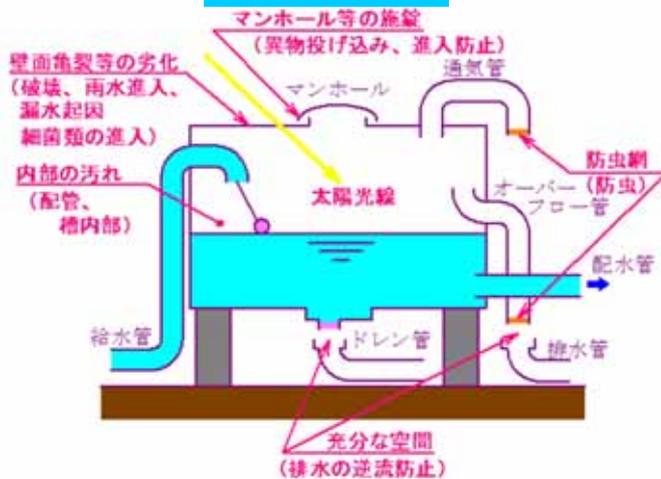
経年劣化したFRP製水槽補修の紹介

FRP製貯水槽は、本体FRPやパッキングが太陽光による紫外線や熱・風雨・水圧負荷等により確実に劣化が進行します。(下図のパネルの主な点検箇所と補修ポイントをご参照ください)

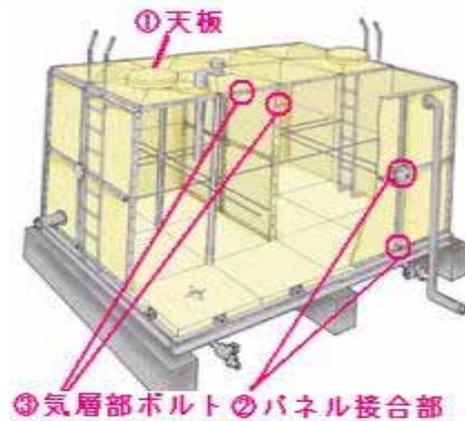
そのまま放置すると、ガラス繊維の露出、漏水、水汚染、本体破壊等の事故につながります。

経年劣化の進んでいる代替手段のない水槽につきましては計画的な更新をお勧めします。検討の際には弊社の担当者に気軽に声をおかけください。

水槽の点検箇所



FRPパネル水槽補修ポイント



①天板劣化状況



パッキング劣化

②パネルの接合部

③気層部ボルト腐食状況



FRP水槽破壊事故写真



発行 藤田テクノ株式会社 テクノレポート発行委員会

〒370-0069 群馬県高崎市飯塚町1174-5 TEL 027-361-8111 FAX 027-361-3686

太田支店 TEL 0276-46-1348

埼玉支店 TEL 049-279-3011

問合せ先: 技術部/酒井、管理部/都木

URL: <http://www.fujita-tec.co.jp> MAIL: m-takagi@mail.fujita-tec.co.jp (メール配信ご希望の方はこちらまで)

本紙は、弊社よりの納品書等の郵送時に同封させていただきますので重複等が発生する事がございます。予めご了承下さい。

2013年 5月10日発行

編集: 都木